管機連Daily News

2026年11月16日（月）

≪　今日の主なニュース　≫

～　日経ニュースなどを中心に抜粋　～

◆営業秘密の漏洩、経産省が罰則のあり方議論　技術流出の抑止狙う

・経済産業省は企業の営業秘密漏洩に対する罰則のあり方について議論を始めた。技術流出の抑止力を高めるため、厳格な運用を求める声がある。産業構造審議会（経産相の諮問機関）の小委員会で議論し、早期に方針をまとめる。技術流出に関する罰則は不正競争防止法で規定。営業秘密侵害罪となった場合の罰金上限は個人が2000万円、法人が5億円。

◆70歳以上医療費、3割負担対象増へ与党に3案　年齢上げ・所得基準変更

・自民党と日本維新の会は70歳以上の医療費窓口負担の引き上げに向けた実質協議に入った。維新は現役世代と同じく原則3割負担とする主張を維持している。3割負担の対象拡大に向けて3つの案が浮かび上がる。70歳以上のうち何歳から何歳までを見直すか、70歳以上で3割負担を求める対象範囲をどう考えるかなどの論点を今後詰める。

◆上場企業の27年3月期、純利益2割増に上振れ　「非AI」が底上げ

・上場企業の業績が一段と上振れしている。2027年3月期の純利益は前期比2割増と、6年連続で過去最高となる見込み。資本効率を重視する経営の浸透により、医薬品や商社など人工知能（AI）需要に頼らない企業が利益を伸ばし、全体を底上げする。3月期決算の東証プライム上場企業（親子上場の子会社など除く）を対象。

≪　業界ニュース　≫

～　日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋　～

◆ヤマダデンキ、リフォーム顧客情報に不正アクセス　最大350万件漏洩の恐れ

・ヤマダデンキはリフォーム管理システムに不正アクセスを受けたと発表。登録されている顧客情報が最大で約350万件漏洩した可能性がある。氏名や住所、電話番号、リフォーム実施履歴や見積もりデータなど営業記録が対象。ヤマダデンキによると、マイナンバーやクレジットカード情報は不正アクセスの対象に含まれていない。

◆冬の電気・ガス代補助に6500億円　予備費支出を閣議決定

・政府は冬の電気・ガス代補助へ「中東情勢等対応予備費」から6519億円支出することを閣議決定。12月から2027年2月までの3カ月間、標準的な家庭で計7000円程度の負担引き下げ効果をめざす。電気・ガス代補助に5219億円を充てる。電気は1キロワット時あたりで26年12月に1円、27年の1、2月は4.5円を支援。重点支援地方交付金に1300億円を拠出。

◆建設業の倒産、10月は161件　前年同月比12.0%減　TDB集計

・帝国データバンクが発表した2026年10月の全国企業倒産集計によると、建設業の倒産件数は161件で、前年同月比12.0%減。2カ月連続で前年同月を下回った。一方、全国の倒産件数は950件で同1.6%減だったものの、2026年1～10月の累計は8949件と前年同期比4.3%増加。年間では2年連続で1万件を超える見通しとなっている。

≪　注目商品　≫

■TOOLBOX、継ぎ目のないアルミフレームキッチン



・押出成形のアルミフレームに引き出しとパネルを組み合わせたキッチンで、継ぎ目のないシャープなエッジが特徴。アルミ素材のスリムな把手と耐久性や清掃性に優れたステンレスの天板を採用。扉にハニカム構造のアルミパネルを採用、12ミリの薄さと面の平滑さを両立。

■パナソニックリビング、浴室・サウナの一体的な空間を提案



・HARVIA JAPANと連携し、システムバスルーム「L-CLASS」にHARVIA製のサウナを組み合わせた空間の提案を開始。ロウリュ対応のサウナヒーターを備えたサウナと浴室をシームレスにつなぐ空間設計が特長で、約2坪の省スペース設計で多様な建築用途に対応。

■HiKOKI　ガスなしで効率的に打ち込めるコードレスコンクリート釘打機



・ガスなしでパワフルな釘打ちが可能な「コードレスコンクリート釘打機 NC1840DA」を発売。同社初の「エアスプリング方式」を採用。ガスカートリッジの交換が不要で屋内でも快適に使用でき、コンクリート下地だけでなくH形鋼などの鋼材下地への直接打ち込みにも対応。